

# 塩谷郡市医師会だより

平成10(1998)年12月15日 第3号

社団法人 塩谷郡市医師会 塩谷郡氏家町桜野1319番地3 氏家町保健センター内 Tel 028(682)3518

## 平成10年度第4回役員会報告

(11月30日午後6時30分～9時30分)

出席理事役員(黒須会長、松村・村井副会長、大野・戸村・尾形新・阿久津正美・小林祐・斎藤・小林正・池田・尾形直・瀧澤理事、西川監事、桜岡事務長)



### 議題(1)来年度の予算について。

大野会計担当理事から来年度の予算編成についての方針が示されました。通帳が何冊もあり煩雑な点の改良や、本紙の予算、雑収入と協賛金の関係、入会金の扱いなどなど、長年の慣行の不合理な部分を会計士と相談して是正していくことになりました。

### 議題(2)かかりつけ医意見書と審査会。

黒須会長から「介護保険に係わる『かかりつけ医』その他の問題について医師会から行政サイドに意見を出したいので、問題点を指摘して欲しい」旨のお話がありました。コンピュータを使った一次審査を金科玉条としないでもっと柔軟に対応すべきなどの意見などが各理事からありました。郡市医師会員からも広く意見を求めるといふことですので、黒須会長あてにどしどしご意見をお寄せ下さい。

### 議題(3)保健委員会から。

現行点数表の不合理な点や問題点を県医師会で募集しております。期日は11月上旬でしたが「いつでも結構ですから指摘して欲しい」という県医師会長からの要望でした。戸村までFAXないしEメールでお送り下されば、保険委員会の折りに県医師会へ持っていきます。

各理事から「間違いを素直に認めない審査員は止めるべき」という意見が出され、県保険委員会にも伝えることになりました。詳細は保険委員会報告で。

### 議題(4)その他。

地域産業保険センターと医師会の関係をはっきりさせるべきであるという提言がなされました。医師会の備品その他について、文書ではっきりさせることになりました。

## 第304回塩谷郡市医学講座

塩谷病院(矢板) 瀧澤弘隆

日 時 平成10年10月27日午後7時～

場 所 塩谷総合病院大会議室

主 題 「電子カルテは普及するか」

講 師 千葉大学医学部医療情報部長

日本医療情報学会会長 里村洋一教授

今回は、里村教授をお招きし、いま急速に電子化が進もうとしている医療情報システムの現況と将来像について、電子カルテの話題を中心にして先駆者としての蓄積を傾けて頂いた。背景やシステム構築にいろいろ複雑な要因が働いている事を改めて教えられ、電子医療情報システムに関する一同認識を新たにした。

電子カルテの要件としては、均一性、信頼性、安全性、同時性が挙げられ、そのために、諸条件の標準化と様々な脅威からデータを護る技術が必要である。そして、電子カルテ普及の条件として、技術的には、良好なマンマシーンインターフェイス、オーダーエントリーとの一体化、医療費請求と直結、診療ガイドラインの組込みが、また社会的には、連携医療の環境、支払制度の改革(質的評価へ)、情報開示、電子記録の法的認知が必要とされており、一日も早い普及が望まれる。

また、実際の患者での18年間に亘る臨床検査データの経過表や胸部CT写真など電子カルテ画面が供覧され、参加者に深い感銘を与えた。

## 塩谷郡市医学講座300回記念講演会

学術委員長 瀧澤弘隆

日 時 平成10年11月10日(火)午後7時から

場 所 氏家町公民館ホール

講 師 日本社会事業大学京極高宣学長

演 題 何が変わる? 何が始まる? 老後の安心を担う「介護保険制度」



塩谷郡市医学講座第300回記念講演会は、日本社会事業大学の京極高宣学長を講師にお招きして、平成12年から施行され我が国の医療と福祉に大きな転換を迫ろうとしている介護保険制度をテーマとして行われ、500名以上の参加者を得て盛会裡に開催された。

氏は、厚生省社会局社会福祉専門官を始め各種の審議会委員として社会福祉、年金、医療保険福祉、老人保健福祉、身体障害者福祉に深く関わって来られ、自らがデザインされた日本型介護保健制度の背景や成立、日独の相違点や実際面、更には

介護認定時や運用面での重要な問題点や、現在も審議が継続中の話題について、担当者ならではのお話を率直な語り口で具体的に実際的に分かりやすく展開され、聴衆に深い感銘を与えた。また、医師会員からの質疑が活発に行われた。

その要旨は第300回記念誌に寄稿したので御一読頂ければ幸いである。

## 各種委員会・協議会報告

会長 黒須節三

栃木県都市・大学医師会正副会長懇談会議

日時、平成10年11月7日(土)午後4時～

会場、蓮岱館(足利市)

(1)診診連携・病診連携と保健福祉医療連携等の進め方…介護保険制度への対応を含めて…(那須都市医師会)

県北地域医療連携推進協議会では病診連携のために医療機関の診療内容をまとめた一覧冊子を作成している。

各都市大学病院の実情報告あり。今後、保健福祉制度を含めた情報の必要性、新しいシステム作りへの動き等が話し合われた。

(2)介護保険意見書の料金並びに認定審査委員会委員の報酬について(下都賀都市医師会)

介護保険制度のモデル事業がスタートしているが、認定審査委員会委員の報酬が実際の業務に比べて低いことがわかり、県医師会を通して行政側に申し入れをするが、各都市毎の交渉が必要である。意見書料金についても同様である。

(3)救急医療の補助金について(上都賀都市医師会)

救急医療に対する都市からの補助金がカットされている医師会がある。行政側へ強く働きかけることが肝要である

(4)その他

レセプト受付協力日がいつの間にか早められ、受付日に替えられている。県医師会を通して申し入れをすることとした。

## 栃木県医師会救急委員会

平成10年11月26日(木)

(1)災害時の医療救護に関する協定について

栃木県との協定は近く締結される予定。又安田火災海上保険会社と契約し、災害出動時の傷害を補償することになりました。

(2)救急医療費系補助金について

国から「平成10年度から救急医療関係の補助単価を切り下げる」旨の連絡があった。

(3)救急医療施設医師研修会について

とき: 平成11年1月23日(土)14:00～

ところ: 栃木健康の森 2階 講堂

講師: 社会保険神戸中央病院副院長

水川典彦先生

演題: 「広域災害時の後方支援病院のあり方に  
ついて」—阪神淡路大震災からの教訓—

## (4)その他

休日・夜間に発生する自傷・他害について精神的対応を要する場合、医師⇒警察⇒保健所⇒県立岡本台病院の順序を踏んで行けば、岡本台病院では必ず診察するそうです。その上で緊急入院、外来等振り分けて下さることです。

## 事務局よりお知らせ

### 1.平成10年度第3回学術委員会

平成10年12月17日に開催予定であった学術委員会は都合により平成10年12月28日(月)に変更になりました。場所は塩谷郡医師会事務所です。

### 2.平成10年度第5回役員会

平成11年2月8日(月)午後6時30分より塩谷郡医師会事務所で開催予定です。

### 3.日本医師会のビデオが入りました

ご覧になりたい先生は事務局までお申し込みください。お貸しします。

・内分泌疾患シリーズ「甲状腺腫瘍」

・介護保険セミナー第1回～第4回

(各巻とも約30分くらいです。詳しくは事務局へお問い合わせください)

## 骨密度精密測定装置共同利用のお知らせ

平成10年12月吉日

塩谷総合病院長 瀧澤弘隆

この度、地域住民のニーズに応えより良い保健医療の提供を目指して、かねてより導入を進めてまいりましたX線骨密度測定装置の運用を開始いたしました。

本機は DEXA 方式 LUNAR 社製 DPX-L IQ で、ペンシルビームスキャン方式により、脊椎骨、大腿骨、全身骨等が、低被曝、高精度、高画質で測定可能ですので、スクリーニング検査のみならず精密測定にも是非ご利用いただきご案内申し上げます。ご利用の際には下記までご連絡下さい。

尚、本法は骨粗鬆症の診断に適用され、保険点数は腰椎撮影で360点になっています。

### 申込先

塩谷総合病院 医事課共同利用予約係

TEL 0287-44-1155(代表) 内線1416

〒329-2145 矢板市富田77番地